

学校法人 拓殖大学
理事長
福田勝幸



112年前から強みとしてきた
国際教育をさらに展開し、
グローバル人材を育てたい

拓

殖大学は1900年の建学当初より、今で言う国際人、グローバル人材の育成に力を注いできました。その精神が今ほど求められる時代にはないはずですが、企業の海外進出は加速していますが、現地で働く日本人は不足しています。時代がグローバルな考えや行動を求めているのに、その実践者は少ない。「日本の若者は内向き」と言われてしまつゆえんです。

私が本学を卒業したのは1967年。以来香港で仕事をしている仲間の一人は先日、「香港には世界中の人が集まりビジネスをしているが、中国人も外国人も母国語プラス2つ程度の言語を使いこなしている」と話していました。彼は帰国するたび「日本には発展

がない」とも口にします。私は残念でありません。拓殖大学は、112年前から強みとしてきた国際教育をさらに展開し、密度の濃いグローバル人材の育成をしなくてはなりません。

そのために養うべき力は、語学力はもちろん、現地の人とコミュニケーションができ、異文化と共生できる力。そして気力、体力です。本学が留学生の受け入れに積極的なのもそのため。建設中の寮では、日本人学生と留学生と一緒に暮らす予定です。日本人学生には、彼らのたくましさ、向上心を見習ってほしいと思います。体育の振興強化も重点施策の一つ。体育を通して、コミュニケーション力や人間関係、実行力などを磨いてほしいと思います。

こうした原点に立ち返る取り組みは、就職力を高めることにもつながるはず。実力を養うと同時に、キャリア教育もいっそう強化したいと思っています。新入生に対し、大学で何を、どうやって学ぶのか、自分の職業や人生をどうするかなどを共に考えるキャリアアゲイダンスの時間を設けます。

高校生の皆さんは素晴らしいものをもっています。まだ発揮されていないかもしれませんが、誰にも優れたものがあるはずです。教員や友人との触れ合いのなかでそうした潜在的な力に気づき、開花させてほしいのです。再整備が進む文京キャンパスは、教職員が学生一人ひとりの特性を見ることが可能なコンパクトな規模。また、広大な八王子キャンパスでは欧米の大学のような環境下、学業やクラブ活動に打ち込むことができるでしょう。

大学の価値は、単に知識の伝達にあらず。取り巻くすべての環境が人を育んでくれるはずです。大学経営者の仕事はそうした環境を整えること。モットーは「信なくば立たず」。教職員あらゆる関係者の信頼と協力を得て、歴史に恥じない誇りある大学でありたいと思います。

【理事長プロフィール】ふくだ かつゆき●1944年生まれ。拓殖大学商学部貿易学科卒業。拓殖大学 学生主事、総務部長、事務局長、常務理事などを経て2011年6月より現職。

【大学プロフィール】台湾協会学校として1900年に設立。商学部(経営学科、国際ビジネス学科、会計学科)、政経学部(法律政治学科、経済学科)、外国語学部(英米語学科、中国語学科、スペイン語学科)、国際学部(国際学科)、工学部(機械システム工学科、電子システム工学科、情報工学科、デザイン学科)